

レオナルド・ダ・ヴィンチ ワークショップキャラバン 2009 講演会
兼 平成 21 年度大学教育・学生支援推進事業『大学教育推進プログラム』公開講演会
実施報告書

大阪府立高専では、平成 21 年度に文科省大学教育推進プログラム（教育 G P）として、「総合的な科学技術力を育成する実験実習」の取組が採択されました。そのため、その取組成果を広く公開するため教育 G P 公開講演会を開催しました。

当日は、特別講演として「科学技術と芸術を総合化したジェネラリスト：レオナルド・ダ・ヴィンチの魅力」という演題でレオナルド・ダ・ヴィンチ国立科学技術博物館（イタリア）のフィオレンツォ・ガッリ館長他に特別講演を頂き、ルネッサンス時代の偉大な芸術家であり科学者・技術者でもあった、レオナルド・ダ・ヴィンチの魅力についてご講演を頂きました。本校からは、教育 G P プロジェクトリーダーの土井智晴から「大阪府立高専の総合力を育てる実験実習の紹介」と題して、教育 G P の取組概要と平成 21 年度の主要な成果である卒業製作について報告をしました。参加者は、本校から 110 名、主催団体およびダ・ヴィンチ国立科学技術博物館関係者から 40 名の合計 150 名でした。

開催日：平成 21 年 11 月 27 日（金）

時 間：午後 2 時～午後 4 時（開場 午後 1 時 30 分）

会 場：大阪府立中央図書館 ライティホール（大阪府東大阪市）

主 催：NPO 法人 EEFA（特定非営利活動法人 環境・エネルギー・農林業ネットワーク）

共 催：大阪府立工業高等専門学校

特別講演：

「科学技術と芸術を総合化したジェネラリスト：レオナルド・ダ・ヴィンチの魅力」
レオナルド・ダ・ヴィンチ国立科学技術博物館 フィオレンツォ・ガッリ館長

講 演：

大阪府立高専の総合力を育てる実験実習の紹介

大阪府立工業高等専門学校 教育 G P プロジェクトリーダー 土井 智晴

参加者：150 名（参加・無料）

当日の様様：



ガッリ館長講演の様子



ジョルジョーネ学芸員講演の様子

備 考：アンケートの結果については裏面を参照下さい。

ガッリ館長他の特別講演に関して興味深かった点

1. ダ・ヴィンチが科学と芸術の融合を様々な機器で用いて、有用な機械を発明できている所
2. ダ・ヴィンチが水力学について勉強していた点
3. 自然を観察する中で、科学技術に結びつけると言った点
4. ダ・ヴィンチは常に自然のことを考えていて人体と自然について比較していることにびっくりした。(髪と植物や川の流れ)
5. 自然と科学技術の融合、自然と技術の共存、自然と環境の大切さ
6. スライドの写真や絵画で、変わった形の機械はとても興味深かった
7. 美術博物館での多くの子供たちが興味を持って科学に取り組んでいた姿に感心した
8. レオナルド・ダ・ヴィンチの絵の意味が知れた
9. ダ・ヴィンチが何故いろいろな発明を思いついたのか気になった
10. ダ・ヴィンチは自然や他の技術を観察し、それを絵にしたこと。そこから機械を開発すること
11. 科学技術の芸術との間での様々な技術の融合
12. 絵画に自然の特徴を取り入れた技法(例:光の描き方)
13. ダ・ヴィンチの残したスケッチを基にして発明品を組み上げること
14. 技術と自然の融合に早い段階から重要だと気付いていたことに興味を抱いた
15. ダ・ヴィンチの思想、実行力、構想どれをとっても現代の人にはない素晴らしいものだと思う
16. 自然という言葉の重み
17. 高専生として、技術者として、レオナルド・ダ・ヴィンチは非常に影響を受けたい人物だった
18. レオナルド・ダ・ヴィンチは、絵を描くという表現方法を使い、自らの科学に関する考え方を表現していた。
19. そのときの、自然の観察眼と好奇心の強さは見習うべきものと思った
20. 科学技術発展には自然そのものや自然の観察が必要だということ
21. レオナルド・ダ・ヴィンチの絵や設計図が自然や他人の手法を「観察」することで書かれているという点
22. 科学と文化について、当時のヨーロッパの人々やダ・ヴィンチがどのように考えていたのか、
23. ダ・ヴィンチの作品において自然へのリスクペクトが非常に重要であるという点
24. 科学は文化、自然、観察、表現、探究心等印象的であった。

(以上、抜粋)

本校の講演に関して興味深かった点

1. 様々なアイデアを用いた発電方法。総工でやることの発想が面白い点。
2. 新エネルギーの利用技術を開発する点。
3. 立案から全て学生がやらなければならないという点が大変だろうなと感じました
4. ターザン発電や圧電素子、高専生らしい他の学校ではなかなか出来ない実習だと思った
5. レオナルド・ダ・ヴィンチのような学生にする為にこれからの授業内容の変化に興味を持てる
6. 色々な分野の人と共に(卒業製作が)出来るのはいい
7. 全コースの人間が集まればどれだけの製作ができるのか知りたいと感じた
8. 自分たちで製作すること、また、外部の方から見て頂いて評価を受けること
9. 5年で何をやるかという点、少し楽しみになった

(以上、抜粋)

(2009/12/28 文責：土井)

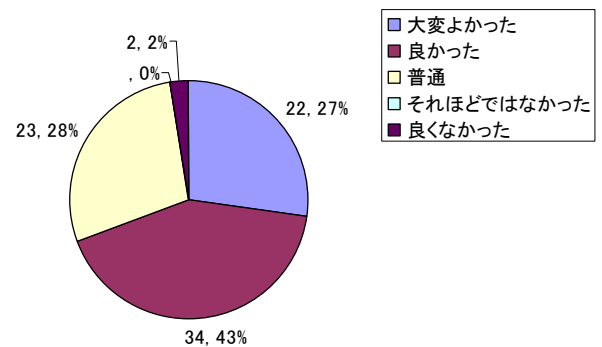
アンケート結果について

今回のGP公開講演会の参加者に対して行ったアンケート結果を右にまとめました。

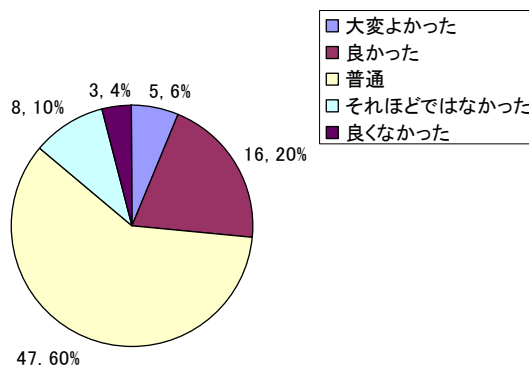
ダ・ヴィンチに関する特別講演にはとても関心を示したようです。しかし、本校のGPに関しては、参加者の90%が本校学生および教職員であったためか、普通という評価が多くなったようです。

しかしながら、講演会全体に関しては、70%の参加者が有意義だと評価して頂き、本講演開催については、意義があったと思っています。

特別講演「科学技術と融合化したジェネラリスト:レオナルド・ダ・ヴィンチの魅力」は、興味深かったですか？



「大阪府立高専の総合力を育てる実験の紹介」は興味深かったですか？



今回のGP公開講演会全体は、どうでしたか？

